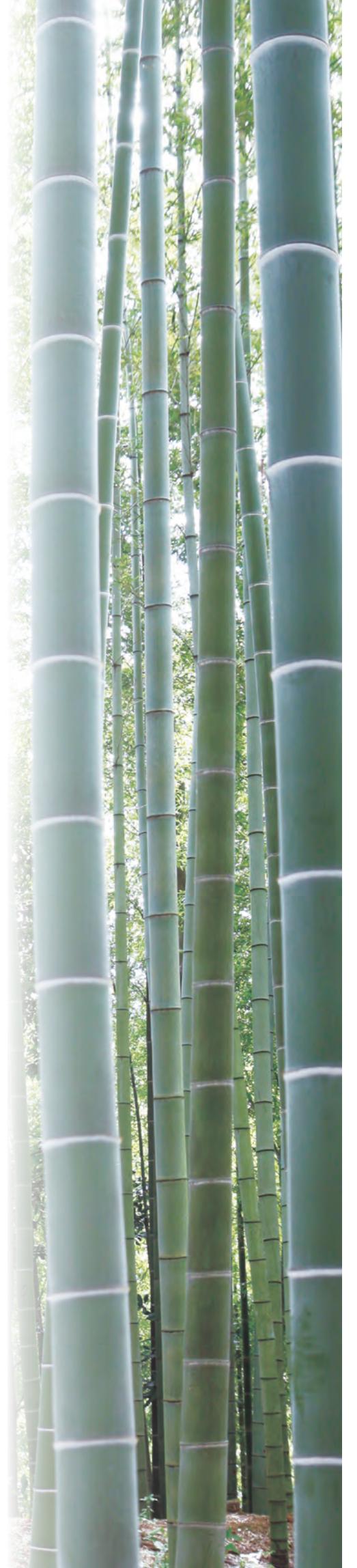




住みつづけたい
みどりと歴史のまち

市制施行
40周年
記念

長岡京市 市勢要覧
Nagaokakyo City 2012



長岡京市のプロフィール

約1,500年前に^{おとくにのみや}弟国宮が置かれ、約1,200年前には長岡京の都が置かれた歴史あるまち長岡京市。

本市は、京都盆地の南西に位置し、北は向日市・京都市、東は京都市、南は大山崎町、西は西山を境に大阪府と接しています。東西約6.5km、南北約4.3kmと東西に長い長方形をなしており、総面積19.18km²に約8万人の市民が暮らしています。

総面積の約40%を占める西山は、本市の代表的な景観となっています。中央部はアゼリア通りを中心とする商業地、西部・北部は住宅や農業に広く利用されています。東部には工場が立ち並び、高付加価値の先端産業が集積しています。

交通は、JR 東海道本線と阪急京都本線が、東海道本線の東側には東海道新幹線・名神高速道路・国道171号が縦走しており、交通の便に恵まれています。

今、^{とき}時代を読み 惑わずに

長岡京市は平成24年に、市制施行「40周年」を迎えました。これまでの市政の発展は、まさに先人の努力の賜物であり、市民のみなさまの支えがあつてこそ実現した、との思いを新たにしています。

市制施行の2年前には大阪万博が開かれ、日本全体に活気がみなぎっておりました。本市は、早くから自然環境と交通の利便性が注目され、住宅開発、人口急増の中で乙訓郡長岡町から長岡京市に生まれ変わったのです。その後、時代は、生産と消費の20世紀

から環境の世紀とされる21世紀に移りました。また、あだ花ともいうべきバブル経済の崩壊など、世の中が騒がしくなりました。さらに阪神淡路、東日本の二度の大震災にも見舞われました。

今、私たちの願いは平和で心豊かな生活の持続であり、この市制施行40周年を意義深いものにしなくてはなりません。論語に「不惑、すなわち四十にして惑わず」とあります。さらなる隆盛への決意を申し述べ、ごあいさつとさせていただきます。



長岡京市長 小田 豊

利便性と自然が 調和するまち

かつて「長岡京」の都が置かれ、王城の地として栄えた長岡京市は、歴史と西山の緑に育まれてきました。京都・大阪の二大都市を結ぶ中間に位置する地の利にも恵まれ、豊かな自然や歴史資源、先端産業が共存するまちとして発展を続けています。



JR長岡京駅西口周辺



阪急新駅「西山天王山駅」イメージ図



西山森林ボランティア行事での記念撮影



朝日が差し込む竹林



西山の恵みタケクコ



西山森林ボランティア行事

自 慢や誇りに思うものとして、市民アンケートのトップに上げられたのが「交通の利便性」です。中央部を阪急京都本線、東部をJR東海道本線が走り、京都の中心部へは10〜15分、大阪へは約30分で行くことができます。また、市の東部には、名神高速道路や国道171号、東海道新幹線が南北に縦走しています。市の南部から西山へ通ずる京都第二外環状道路(にそと)平成25年3月開通予定は、名神高速道路と京都縦貫自動車道とをつなぐことになり、新たなにぎわいと交流を生み出すことが期待されています。にその高架下には阪急新駅「西山天王山駅」(平成25年度下半期開業予定)も建設され、南部地域の活性化に新たな一歩を踏み出します。また、市内の交通が不便な地域の解消や、高齢者の交通手段を確保するために、平成18年10月から、コミュニティバス「はっぴいバス」を運行しています。北コースと西コースの2つのルートを走り、夏休みには子ども無料乗車を実施するなど、市民に親しまれています。



コミュニティバス「はっぴいバス」

市 民アンケートで、「交通の利便性」に次いで多かったのが、「歴史的景観」と「みどりの景観」です。市民憲章にも「長岡京市の古い歴史と伝統は心にうるおいを与え、西山の豊かな緑は明日への英気を養ってください」とうたっています。市の総面積の約40%を占める西山には、多くの木々や動植物が生育し、貴重な緑の資源であるとともに、代表的な景観となっています。ハイキングスポットとして、市外からも多くの人が訪れ、自然に親しんでいます。

美 しい西山を守り、育てるために、市民団体や森林所有者、地元企業、行政などが、協働で森林整備に取り組んでいます。平成17年には「西山森林整備推進協議会」

を組織し、保全活動を進めています。本市では、市民活動が活発で、中でも放置竹林や森林の整備、自然保護に取り組む市民団体が数多く活動しています。また、毎年秋に開かれる森林ボランティア行事には、大人から子どもまで150人を超える市民が参加しています。これらの活動を通して、一時は衰えを見せた森林も、地下水のかん養や二酸化炭素の吸収など、森林が持つ本来の機能を取り戻してきました。また、西山で育まれた地下水を利用できる施設として、勝竜寺城公園に「ガラシャおもかげの水」を設置しています。地下水100%の水道水を汲むことができ、毎日多くの市民が訪れています。



ガラシャおもかげの水

西 山の恵みとして、忘れてはいけないのがタケノコです。ふもとに広がる竹林では、本市の特産品であるタケノコを、農家のみなさん

が愛情を込めて育てています。本市を含む乙訓地域一帯のタケノコは、「京都市軟化栽培法」と呼ばれる方法で育てられ、色が白く、柔らかな食感が特長です。旬の季節には、市内のあちこちでタケノコ直売店が姿を見せ、春の風物詩となっています。市の西部にある寂照院(じやくしやういん)には、宇治黄檗山(おうぼくさん)の僧が、中国から持ち帰った孟宗竹(もうそうちく)を植えたとする伝承があり、「孟宗竹発祥之地」の石碑が建てられています。また、境内の一角に保存されている竹林は、平成24年に京都府の登録有形文化財(天然記念物)に登録されました。

自 然と歴史が織りなす景観を次世代に引き継ぐために平成21年に景観条例を定めました。市内には、西山の緑を背景に、竹林や田畑などの自然が市街地に多く残り、長岡天満宮や光明寺などの神社仏閣のほか、江戸から大正に建てられた国登録有形文化財の古民家など歴史資源にも恵まれています。このまちに暮らす人たちが、ほっと落ち着き、誇りやふるさととしての思いを抱く景観づくりを進めています。

歴史が織りなすまち



長岡京と細川ガラシヤ

よみがえる『幻の都』—長岡京と中山修一さん

かつて、この地には長岡京の都が置かれ、王城の地として栄えていました。その期間は、平城京から遷都された784(延暦3)年から794(延暦13)年に平安京に遷るまでの10年間です。京域は、現在の長岡京市・向日市・大山崎町・京都市の一部にまたがる広大なものでした。政治の中心は、大極殿のあった向日市のあたりですが、長岡京市は、京域の南西部に位置し、市が置かれるなど経済の中心であったとされています。

また、木津川・宇治川・桂川などから瀬戸内海ルートへと通じる水運の良さと、山陽道・山陰道との関わりから陸上交通が発達し、多くの人々が訪れ、にぎわっていたとされています。



長岡京発見のきっかけとなった田んぼの付近に建つ『長岡京発見之地』の石碑

ところが、遷都からわずか10年で、次の平安京に都を遷すこととなります。長岡京が短い年月で幕を閉じた理由として、洪水説や早良親王の怨霊説、莫大な都市開発費が原因だとする説など、さまざまなお説があげられています。

幻

の都とされた長岡京を現実のものとして、その存在を明らかにしたのは、地元・久貝地域に生まれ育った故中山修一さんでした。中山さんは、数人の仲間とともに、1954(昭和29)年に発掘に着手し、翌年には朝堂院中門の会昌門跡を発見しました。そして1961(昭和36)年には大極殿の調査が行われ、長岡京の存在が明らかになりました。



長岡京期の出土品
四仙騎獣八稜鏡
「蘇民将来」呪符木簡



故中山修一さん

らかにになりました。その後、条坊道路が相次いで発見され、かなり完成度の高い都であったことが解明されました。

長

岡京のほかにも、市内には数多くの遺跡や古墳が発掘されています。中でも、古墳時代中期に築造された恵解山古墳は、乙訓地域最大の前方後円墳とされ、国史跡にも指定されています。現在、古墳を復元し、史跡公園としての整備を進めています。(平成26年度完成予定)



恵解山古墳の出土品
水鳥形埴輪

戦乱の世に咲いた白百合 —細川ガラシヤ

玉 (後のガラシヤ)が、乙訓地方一帯を支配していた勝龍寺城の城主・細川藤孝(後の幽斎)の嫡子・忠興の元に興入れしたのは、1578(天正6)年のことでした。このとき2人は16歳、それからの約2年間、勝龍寺城で幸福な新婚時代を過ごしました。

その後、藤孝と忠興らは丹後宮津市の宮津城に移りました。玉の運命が大きく変わるのはそれから2年後の1582(天正10)年、「本能寺の変」で、父・明智光秀が織田信長を討つたことからでした。本能寺の変の後、玉は謀

反人々光秀の娘として処刑されることでしたが、忠興の必死の請願により、丹後の味土野(京丹後市弥栄町)に2年間幽閉されました。

運

命に翻弄され、悲しみにくれる玉を救ったのはキリスト教でした。1587(天正15)年、玉は、侍女の清原マリアによる洗礼を受けて入信しました。その時の洗礼名が「恵み」を意味する「ガラシヤ」でした。

忠

興は、1600(慶長5)年に徳川家康に従

って会津の上杉討伐に参陣します。対する石田三成は、上杉討伐に従った武将の妻子を人質にしようと、大坂城下に暮らしていたガラシヤのもとに向かいました。ガラシヤは、自分が人質になっては忠興に迷惑がかかるかと自害を決意。しかし彼女は、キリスト教の教えから、自ら命を絶つことができず、家老の小笠原少齋の介錯を受けました。辞世の句として「ちりぬべき時知りてこそ世の中の花も花なれ人も人なれ」が伝えられています。

享年38歳。ここに、戦国の

世に咲いた清らかな一輪の白百合、細川ガラシヤの生涯は幕を下ろしたのです。

新

婚時代をガラシヤと忠興が過ごした勝龍寺城跡を勝竜寺城公園として整備した1992(平成4)年から、市民の提案をもとに「長岡京ガラシヤ祭」を開催しています。毎年、11月の第2日曜日までの約1週間、「ガラシヤウィーク」として、様々なイベントが市内各地で開かれ、多くの人で



ぎわいます。祭りのメインとなる興入れ行列では、時代装束に身を包み、玉(ガラシヤ)が、細川忠興のもとに嫁入りした際の興入れ行列と婚禮の儀を再現しています。

堂本印象「細川ガラシヤ夫人(大阪玉造教会壁画下絵)」京都府立堂本印象美術館蔵



勝竜寺城公園



勝竜寺城公園にある細川忠興・玉(ガラシヤ)像



ガラシヤとその父・明智光秀、細川忠興・幽斎らを主役に、戦国の世を生きた親子と夫婦の絆をテーマとする大河ドラマの誘致活動に取り組んでいます。京都府内のゆかりの自治体が平成23年に「NHK大河ドラマ誘致推進協議会」を設立し、観光イベントでのPRや署名活動などを展開しています。



冬 花菜畑



秋 光明寺



夏 柳谷観音楊谷寺



春 八条ヶ池

歳時記

四季の彩り

1月 ▷初詣 ▷勸請縄・お千度詣り(走田神社) ▷勘定掛(勝龍寺) ▷市民マラソン大会

2月 ▷節分祭(長岡天満宮) ▷採燈大護摩供(柳谷観音楊谷寺)

3月 ▷梅花祭(長岡天満宮)

4月 ▷桜まつり(八条ヶ池) ▷春の観光まつり(長岡天満宮、乙訓寺)

6月 ▷ホテル鑑賞の夕べ(西代橋付近) ▷あじさいまつり(柳谷観音楊谷寺)

7月 ▷若葉カップ(西山公園体育館)

8月 ▷奉納夏祭り・夏灯籠(長岡天満宮、八条ヶ池) ▷サマーナイトカフェ(パンビオ広場公園)

9月 ▷名月の宴(勝竜寺城公園)

10月 ▷市民大運動会

11月 ▷長岡京ガラシャ祭(勝竜寺城公園ほか) ▷乙訓ふるさとふれあい駅伝 ▷秋のもみじめぐり(光明寺・長岡天満宮・柳谷観音楊谷寺)

12月 ▷パンビオイルミネーション(JR長岡京駅前一带) ▷大晦日*変更の場合あり



中山修一記念館
“幻の都”長岡京解明に生涯を捧げた故中山修一さん(1915-1997)の記念館。長岡京の復元図や当時の発掘の様子、中山さん直筆の長岡京の条坊図などを展示しています。



柳谷観音楊谷寺
京都清水寺の開祖延鎮が大同元(806)年に創立。境内には空海の法力による独結水があり、眼病に効くとの信仰を集めています。初夏にはアジサイが、秋にはもみじが見ごろを迎えます。



神足ふれあい町家(旧石田家住宅)
西国街道沿いにある江戸時代末期の商家を、喫茶室や貸しスペースを設けて、整備しました。京町家とは異なる農家風の風情を今に伝えます。平成12年には国の登録有形文化財に登録されました。



勝竜寺城公園
暦応2(1339)年に細川頼春が築城したといわれています。天正6(1578)年には、細川忠興のもとに、明智光秀の娘・玉が輿入れしました。平成4年に整備し、現在の公園の姿になりました。



光明寺
西山浄土宗総本山。建久9(1198)年、法然上人の弟子蓮生法師(熊谷次郎直実)の開基とされています。晩秋には、境内の参道両側にあるもみじが色鮮やかに紅葉し、訪れる人々を楽しませます。



長岡天満宮
菅原道真公が大宰府に左遷されるとき名残を惜しんだ地として知られています。朱塗りの拜殿の奥に建つ本殿は、平安神宮の社殿を移築したもので、京都府の文化財に指定されています。



乙訓寺
真言宗豊山派長谷寺の末寺。延暦4(785)年に早良親王が幽閉され、弘仁2(811)年には空海が別当に任じられています。境内では約2,000株のボタンが4月下旬に大輪の花を咲かせます。



八条ヶ池
寛永15(1638)年に、八条宮智親王によって造られたかんがい用のため池。春から夏にかけて、樹齢約150年のキリシマツツジが満開になるほか、梅や桜、アヤメ、シヨウブ、紅蓮が次々と見ごろを迎えます。

四季の花々と歴史が彩るまち

四季折々に様々な表情を見せる長岡京市。春は八条ヶ池のキリシマツツジと乙訓寺のボタン、初夏には柳谷観音楊谷寺のアジサイ、秋は光明寺の紅葉。季節の花々と歴史の薫りが、訪れる人を楽しませます。



トマト
市の奨励作物のトマト。完熟で収穫され、トマト本来のおいしさが味わえるとあって、路地販売や朝市でも人気です。最近では、ミディトマトのブランド化にも取り組んでいます。



花菜
切り花として栽培されていたものを品種改良し、食用にしたもので、12月～5月に出荷されます。花が咲く前のつぼみ部分を食し、栄養も豊富です。「京のブランド産品」に指定されています。



ナス
長卵形で、ツヤが良く、皮は柔らかく、調理の幅が広いのが特長。夏秋用のナスの代表品種である「千両2号」は、市内にあった研究農場で開発され、昭和39(1964)年から本市を中心に全国に広まりました。



タケノコ
春の味覚の王者ともいえるタケノコ。農家の丹精と土質の良さが相まって、色白で、軟らかく、えぐみが少ないのが特長です。独特の風味と歯触りを楽しむことができます。

長岡京市のうまいもん

都市近郊にありながら、のどかな田畑や竹林の風景を残す長岡京市。本市を代表するタケノコやナス、花菜など、丹精込めて育てられる「うまいもん」をご紹介します。



校区の住民と一緒に作った神足小のグリーントンネル(上) / 環境の都づくり会議と長岡中央商店街振興組合が夏に開催する打ち水イベント(左下) / 西山ファミリー環境探検隊で川遊び(右下)



環境 いにしへ 古の都から “環境の都” へ

自然と共生する持続可能な社会を市民のみなさんと築いていくことをめざし、平成21年に「環境都市宣言」を行いました。これまでの生活様式を見直し、社会のあり方を考えるために、毎年多くの市民、企業、市民団体、行政などが協働で環境フェアを開催するなど、“環境の都”の実現をめざし事業を展開しています。

また、小学校では西山をフィールドとする環境学習を行うほか、親子で自然に親しむ機会として「西山ファミリー環境探検隊」などの事業を通して、次世代へ伝える取り組みも進めています。

安全 地域の力が安全をつくる

東日本大震災によって浮き彫りになった新たな課題に対応するため、要配慮者や帰宅困難者への支援、避難所生活などに重点を置いた「地域防災計画」の見直しなど、防災体制の充実・強化に力を入れています。災害時に避難所となる小中学校については、耐震化を急ぐとともに、食糧や水などの物資の備蓄や、断水時にも使用できるマンホールトイレを整備しています。また、大雨による浸水被害を防ぐための京都府いろは呑龍トンネル雨水南幹線の整備計画に伴い、本市の浸水対策も進めていきます。

大災害の初期段階では地域住民の助け合いが力を発揮することから、自主防災組織を支援し、自主防災活動の活性化を図っています。また、市民生活を脅かす犯罪や事故などに対しても、防犯委員や自治会による地域安全パトロールなど、地域住民が主体となった自主防犯活動を支援し、犯罪のない安心・安全なまちづくりを進めています。



◀ 防災訓練で自治会住民が力を合わせてバケツリレー



◀ 消防署と消防団と市役所が合同で行う水防訓練



◀ 防犯パトロール

▶ 地域子育て支援センター「エンゼル」(開田保育所内)で



明日のために、
笑顔のために。

For the future,
For your Smile.

健康 住み慣れた地域で暮らせる安心

だれもが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、保健・医療・福祉のネットワークを築いています。

高齢福祉の分野では、介護予防や認知症予防の講座などの施策を進めています。介護事業所数は年々増加傾向にあり、特に認知症に対応した地域密着型サービスに重点を置き、質・量ともに充実を図っています。子育て支援の分野では、保育所(園)の誘致や定員数の増加などにより、待機児童対策に取り組んでいます。就学前の子育て親子が気軽に集まれる場として、子育て支援センターやつどいの広場などの支援事業にも力を入れています。また、障がい福祉の分野では、住み慣れた地域で自立した生活を送るためのサービス提供体制の確保や、就労・社会参加のための相談・支援体制の充実にも取り組んでいます。

私たちの健康を支える医療体制については、本市を含む京都・乙訓医療圏の人口10万人あたりの医療施設従事医師数が343.8人と、全国平均の206.3人を大きく上回り、大変充実しています。休日診療は、医師会の協力を得ながら内科・小児科は乙訓休日応急診療所で、外科は当番医制で、医師体制の確保に努めています。また、病気の早期発見や感染症予防のために、各種検(健)診や予防接種にも力を入れています。



▲ 中央公民館での「子育てふれあいルーム」
障がい者スポーツのつどいで卓球バレーを楽しむ参加者



▶ みんなでゲームを楽しみながらできる認知症予防講座



平成24年8月29日撮影

地域力 連携力

地域が活躍の場

地域コミュニティの核となるのは自治会です。市内には57の自治会があり、住民同士の親睦・交流や防災・防犯活動など、様々な活動に取り組んでいます。

その上で、より広い範囲で地域住民が支え合い、地域の課題解決や活性化につなげようと、小学校区を単位とした「地域コミュニティ協議会」を順次設立しています。校区内で活動する団体や個人が、顔の見える関係を築きながら、各校区で特色ある活動を展開しています。

また、ボランティア活動に参加する人も増えており、小学校のすくすく教室(放課後子ども教室)や、中学校の勉強や部活動を支援する学校支援地域本部事業など、退職後の世代を中心に地域住民の活躍の場が広がっています。

本市は全国でもいち早く、平成14年に「市民活動サポートセンター」を設置しました。環境や子育て支援、福祉、文化芸術活動などに取り組む市民活動団体が数多くあり、放置竹林整備や児童虐待防止などの各分野で、複数の団体がネットワークを組織する活動も広がってきています。また、配食やふれあいの居場所づくりなど、行政と協働する分野も着実に増えています。



▲長岡第四小の地域コミュニティ協議会で取り組んだ通学路の安全点検のワークショップ
▼環境分野で活動する市民団体が中心となり開催される長岡京竹あそび

議会

市民とともに歩む、開かれた議会へ

市議会は、選挙で選ばれた26人の市議会議員によって構成され、市長とともに二元代表制の一翼を担っています。年4回開かれる定例会と、必要に応じて開かれる臨時会があり、市政の進め方をチェックしたり、市民の要望を伝えたり、政策を提案したりして、より良いまちにするための議論を行っています。

議会には、総務産業、建設水道、文教厚生 の3つの常任委員会と、議会運営委員会、特別委員会があります。特別委員会は、必要に応じて設置されるもので、現在は、まちづくり・公共交通対策、公共施設対策、環境対策の3つを設置しています。

また、平成24年3月には「議会基本条例」を制定し、市民とともに歩む開かれた議会をめざしています。



議長 上田正雄



副議長 大伴雅章

大伴 雅章	小谷宗 太郎	大畑 京子	尾崎百 合子	八木 浩	岩城 一夫	田村 義明	藤井 俊一	上田 正雄
祐野 恵	進藤 裕之	上村 真造	黒田 基	坪内 正人	富岡 浩史	浜野 利夫	野坂 京子	瀬川 光子
堤 淳太	高見 良一	福島 和人	大谷 厚子	西村 厚子	藤本 秀延	武山 彩子		



▲大勢の市民が集まる駅前広場コンサート
▼熱戦が繰り広げられる「若葉カップ」



文化力

大人、子ども、いきいき

文化の分野では、長岡京記念文化会館での「長岡京音楽祭」やJR長岡京駅前パンビオ広場公園での「駅前広場コンサート」など、“音楽のまち・長岡京”をめざし、様々なイベントを開いています。また、市民の生涯学習活動は、中央公民館や図書館、パンビオ、長岡京こらさなどを拠点に、活発に行われています。

スポーツの分野では、“いつでも、どこでも、だれでも”スポーツを楽しめるように、小学校区単位で「総合型地域スポーツクラブ」の設立を進めており、スポーツを通じた健康づくりと、地域の結び付きを強めています。また、毎年夏には、“小学生バドミントンの甲子園”ともいわれる「若葉カップ」を企業の協賛を得て開催し、全国の小学生が熱戦を繰り広げ交流しています。

市内には小学校10校と中学校4校があります。英語教育に力を入れており、小学校では必修化される10年以上前から取り組んでいます。また中学校では、国際理解教育として、市立中学校に通う生徒から参加者を募り、選ばれた16人を現地の人との交流や異文化体験を目的とし、姉妹都市の米国アーリントンに派遣しています。



市章



市の花：霧島つつじ
(昭和47年10月制定)



市の木：もみじ
(昭和47年10月制定)



市の鳥：メジロ
(平成4年10月制定)

長岡京市

Nagaoka-kyo City

おでかけ MAP

長岡京市へのアクセス

- 名神高速道路大山崎ICから車で15分
- 京都第二外環状道路長岡京ICから車で5分
(平成25年3月開通予定)
- JR東海道本線京都駅から長岡京駅まで約10分、大阪駅から長岡京駅まで約30分
- 阪急京都本線河原町駅から長岡天神駅まで約15分、梅田駅から長岡天神駅まで約30分

友好姉妹都市



中国 寧波市

昭和58年4月21日に友好都市盟約を締結。浙江省の東部に位置する中国有数の港湾都市。人口は約568万人、面積は9,817km²。



米国 アーリントン

昭和59年9月21日に姉妹都市盟約を締結。ボストン郊外に位置し、「森の中にあるまち」と呼ばれるほど美しいまち。人口は約4万3,000人、面積は14.3km²。



静岡県 伊豆の国市

平成18年11月11日に姉妹都市盟約を締結。伊豆半島有数の温泉観光地。合併前の旧伊豆長岡町時代から姉妹都市。人口は約5万人、面積は94.71km²。



長岡京こらさ

京都府から婦人教育会館の移譲を受け、平成22年4月に「多世代交流ふれあいセンター」として開設。「長岡京こらさ」の愛称で親しまれています。

施設名	
1階	生涯学習フロア
	地域障がい者交流フロア (乙訓聴覚言語障害者 地域活動支援センター)
	男女共同参画フロア 「いこ〜る」
2階	市民活動オフィスフロア
	子ども交流コーナー
	シルバー活動交流フロア (長岡京市老人クラブ連合会)
	地域医療交流フロア (乙訓医師会)

面積●19.18km²

範囲●6.5km(東西) /4.3km(南北)

海拔●490.0m(最高) /10.0m(最低)

東経●135°39'~43'

北緯●34°54'~57'



バンビオ1番館

JR長岡京駅西口地区の市街地再開発に伴い平成17年に開設。公共施設と商業施設がテナントとして入る複合施設です。

フロア	施設名
1階	市民交流フロア
	市民活動サポートセンター オープンラウンジ 「カフェエボカ」
2~4・6階	中央生涯学習センター 観光情報センター 総合生活支援センター
2階	教育支援センター
5階	女性交流支援センター
6階	生涯学習団体交流室

長岡京市民憲章

(昭和52年11月3日)

長岡京市の古い歴史と伝統は心にうるおいを与え、西山の豊かな緑は明日への英気を養ってくれます。

この恵まれた歴史と自然を生かし、みんなが力を合わせて生きがいのあるまちをつくるために、この憲章を定めます。

わたくしたち長岡京市民は、

- 1 緑と水を大切に、健康で美しい環境のまちをつくりましょう。
- 1 明るい笑顔と助け合う心を大切に、住みよいまちをつくりましょう。
- 1 学ぶ心と歴史遺産を大切に、文化の豊かなまちをつくりましょう。
- 1 働く喜びと家庭のうるおいを大切に、産業とくらしの調和のとれたまちをつくりましょう。
- 1 平和と人権を大切に、心のふれあうまちをつくりましょう。



市制施行40周年記念

長岡京市 市勢要覧

2012(平成24)年10月発行

発行：長岡京市

〒617-8501 京都府長岡京市開田一丁目1-1

電話：075-951-2121 ファクス：075-951-5410

<http://www.city.nagaokakyo.kyoto.jp/>

長岡京市の宣言

長岡京市「市木」「市花」の宣言

(昭和47年10月1日)

長岡京市は平和を愛し、美しいまちづくりをすることを念願し、市を象徴するにふさわしい木として「もみじ」、花として「霧島つつじ」を決定することを議会の賛同のもとにここに公文をもつて宣言する。

交通安全都市宣言

(昭和53年3月6日)

交通事故をなくすことは、全人類の長年の願いである。

交通事故による人命の損傷はあとをたたく、毎年多くの犠牲者を出している。

このため、歩行者、運転者ともども交通ルールの厳守を誓い、市民の総力をあげ交通の安全につとめ、明るく住みよい生活環境の向上をめざし、ここに長岡京市を「交通安全都市」とすることを宣言する。

長岡京市健康文化都市宣言

(平成10年10月25日)

この街が好き
さわやかな風
陽が街にそよぐ
四季の楽しさ
人みなゆつたり生きる
健康を願うところ
夢、希望、思いやり
豊かな歴史と文化に香る
やさしいふるさと長岡京
いつまでも暮らしたい
この街が好き

いのち輝く長岡京市平和都市宣言

(平成12年12月18日)

こころ豊かで、ゆとりのある平和な暮らしは、私たちの願いです。

人類はいま、冷戦の時代から平和と共生の時代へと踏み出したこの歩みを、さらに確かなものとするために、私たちは薄れつつある戦争の記憶を常に新たにし、その悲惨と災禍の歴史から、平和の尊さをくみとっていかねばなりません。

「歴史を教訓に平和への決意を新たにする決議」を踏まえ、生きとし生けるものが調和し、共生しあって、かけがえのない地球の環境が守られ、人権が尊重され、いのち輝いてこそわが国は真の恒久平和を築くことができます。

新たな21世紀を迎えるにあたり、私たち長岡京市民は、それぞれの立場から貢献することを誓い、ここに「いのち輝く平和都市」を宣言します。

長岡京市子どもを

すこやかに育むまち宣言

(平成18年12月15日)

子どもはみんな、私たちの宝です。明るい未来への希望です。

しかし、少子化や核家族化を背景に、家庭基盤の弱体化、地域コミュニティーの希薄化が進み、子どもに対する犯罪や虐待、いじめが多発して、尊い生命が無残に奪われるなど、大変憂慮される事態にあります。

次代を担う子どものかけがえのない生命を守り、すこやかに育てることは、私たち大人の責務です。

私たち長岡京市民は、子どもが西山の緑にいだかれてすこやかに育つことを願い、家庭・地域・学校・行政が緊密なネットワークを形成して子どもの安全を守り、まちぐるみで子育てを進めることを誓って、ここに「子どもをすこやかに育むまち」を宣言します。

“環境の都”長岡京市

環境都市宣言

(平成21年4月1日)

西山の自然に抱かれ、悠久の歴史が刻まれた長岡京市。

緑と水に恵まれ、多くの命が育まれてきました。しかし、私たちが自然への畏敬と感謝を忘れ、物質的な豊かさを求め続けた結果、温暖化をはじめ、地球規模で様々な環境の悪化が進んでいます。

人類は、自然の一部であり、自然との共生によってのみ存続が可能です。

これを踏まえ、私たち長岡京市民は、自然と共生する持続可能な社会を目指し、世代を超えた市民と企業や諸団体そして行政等との協働により、生活様式や、社会のあり方そのものを見直します。

未来の子どもたちが心の安らぎと豊かさを得られる“環境の都”長岡京の実現が、今の私たちに課せられた責務です。

私たち長岡京市民は、先人の歴史と叡智に学び、あらゆる人々と手を携え、真に環境都市として誇れるまちづくりに取り組む決意をここに宣言します。

長岡京市の歴史

- 518年 継体天皇が弟国宮に遷る
- 784年 桓武天皇が長岡京に遷都
- 1578年 細川忠興と明智光秀の娘・玉との婚礼が勝龍寺城で行われる
- 1889年 旧14カ村が合併し、新神足村、海印寺村、乙訓村の3カ村となる
- 1928年 新京阪鉄道京都西院～天神橋間が開通。長岡天神駅開設
- 1931年 国鉄神足駅開設
- 1945年 太平洋戦争末期に空襲を受け、新神足村の工場で1人が死亡
- 1949年 新神足村、海印寺村、乙訓村の旧3カ村が合併し、長岡町となる
- 1954年 故中山修一さんらにより長岡京跡の発掘調査を開始
- 1955年 長岡中学校が創立
- 1961年 役場庁舎が現在の場所に新築移転
- 1963年 町営上水道第1期工事が完了し、一部の地域で給水が開始される
- 1964年 乙訓環境衛生組合設立
- 1970年 人口が5万人を突破(第11回国勢調査)
- 1972年 市制施行により長岡京市に
- 1974年 乙訓ポニーの学校事務組合(のちの乙訓福祉施設事務組合)設立
- 1984年 長岡京遷都1200年記念事業を乙訓二市一町で開催
- 1988年 第43回国民体育大会京都大会のバドミントン競技会場に
- 1992年 第1回長岡京ガラシャ祭を開催
- 1995年 JR神足駅が長岡京駅に改称
- 2001年 乙訓消防組合発足
- 2005年 JR長岡京駅の西口再開発事業が完成
- 2011年 人口が8万人を突破
- 2012年 西山天王山駅(阪急京都本線)の駅名決定